



〈東区〉2022.4

しのだ江里子市政だより

札幌市議会
民主市民連合

〒060-0001
札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所17F
TEL(011)211-3212 FAX(011)218-5121

No.41



ゆるぎない想いささえあいの東区

コロナ禍で3年目の春を迎えました、お変わりなくお過ごしでしょうか。

医療従事者はじめ市民生活を支えてくださるエッセンシャルワーカーの皆様には、この間、昼夜を問わずのご尽力ご奮闘に心から感謝と敬意を表します。

2月24日から開始されたロシア連邦によるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、このような力による一方的な現状変更の試みは、国際秩序の根幹を揺るがす明白な国際法違反であり、断じて許すことはできません。札幌市議会では3月2日に『ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議』を全議員で提出いたしました。

本市では、人々が等しく平和に暮らせる世界の実現を願って平和都市宣言を行っており、ウクライナへの侵略はそのような市民の願いに反するものです。

札幌市議会は、ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難するとともに、国際法を遵守し、軍の即時撤退と平和的解決を行うよう強く求めています。

昨年末より4回の石狩湾小低気圧による豪雪が続き、市民生活には甚大な被害を与えました。特に2月5日から6日にかけては24時間で60cmを記録する前例のない大雪により、除排雪が間に合わず、JRや市内バス路線が運休し、生活道路はもとより幹線道路もずたずたになりました。吹き溜まりが生じることで、ごみ収集車が進入できず、収集も日をまたぎ、雪の中に家庭ごみを取り残されることもありました。

こうした状況を踏まえ、パートナーシップ排雪の作業量を抑え、交差点排雪や、圧雪路面の整正作業を優先実施し、市内全域の除排雪作業を速やかに実施するため2回の補正予算を設定しました。人口減少が始まる本市では人力も運搬トラックも減少する中で、今後の除排雪の方法を改めて検証・検討する必要があります。

5～11歳の小児への新型コロナワクチン接種が始まりました。

健康な子どもの重症化は極めて稀であり、一方ワクチンによる副反応リスクは高く、10代の心筋炎・心膜炎疑い報告が多く出ています。新しいワクチンは常にリスクと効果を慎重に判断すべきです。接種を望まない方などの権利を守り、同調圧力はあってはなりません。1日も早い「5類感染症」への分類変更を求めます。

これからも“笑顔のまち札幌”を目指し、市民の代弁者として、皆さまの声をしっかり市政に反映してまいります。



<令和4年予算特別委員会報告> 「高齢者施設等に入所されている方の投票機 会の確保について」(選挙管理委員会 3.3)

(1)不在者投票指定施設に対する取組について

昨年10月31日に執行された第49回衆議院議員総選挙で、高齢者施設に入所する方から、入所している施設の違いにより、投票のための外出ができず、投票する手段が無くて大変落胆されたというご相談が複数ありました。

投票には「入院・入所中の病院や老人ホームでの投票方法」があり、都道府県選管指定の施設長が不在者投票管理者となり、不在者投票を行うことができます。

この不在者投票施設は北海道選管から指定を受け、病院や老人ホームであれば収容定員が30人以上の一定の目安があり、昨年の第49回衆議院選挙の時には、札幌市内で、531施設の病院、介護老人保健施設、老人ホームなどが指定を受けている。

質問：札幌市選管として、このコロナ禍、指定施設が不在者投票を安心して管理・執行できるよう、どのような取組を行っているのか伺う。

答弁：選挙執行前に毎回すべての指定施設を対象に不在者投票が円滑かつ適正に行われるよう、説明会を実施、昨年4月、10月選挙では新型コロナウイルス感染症対策の具体的取組を示した。今後も施設の不安解消に努める。

(2)指定施設以外の施設入所者投票機会について

いっぽう不在者投票可能な指定を受けていない高齢者施設等に入所する方たちは、投票への付き添いを断られ、友人の介助も申し出たが、施設全体の

ルールを理由に断られ、あきらめるしかなく、もう今後、投票には行けないのかと悲しかったと語られた。

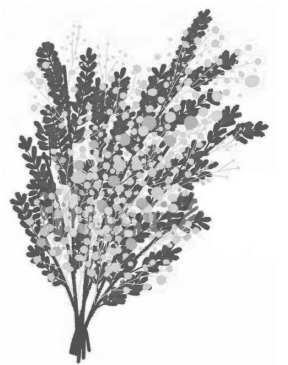
保健福祉局高齢福祉部によると市内介護保険施設等は1,107施設あり、不在者投票指定施設531の中で高齢者関連が約300施設であることから、約7割、700以上が指定を受けていない施設と言える。質問：コロナ禍によって感染防止等を理由に、入所施設から外出を控えると言われる入所者もいる中で、指定施設ではない高齢者施設等に入所されている方の投票機会を確保するために札幌市選管の取組はどのようにされているか。

答弁：入所している施設で不在者投票ができるよう、保健福祉局から情報提供を受け、要件を満たす施設には定期的に働きかけを実施、今後も継続する。

要件を満たさない施設に対しては、選挙人が安全に安心して投票できることを知っていただけるよう様々な媒体を活用し周知していく。

要望：第49回総選挙に向けて、新型コロナウイルスに感染し、宿泊療養所などから投票所へ行けない方に対して「特例郵便等投票制度」が急遽創設されたのは1歩前進であった。新制度の中では、濃厚接触者であっても、「投票のために外出することは不要不急の外出には当たらない」との解釈は、選挙権を保障するためには大切な観点であり、指定施設以外の高齢者施設にも改めて確認していただき、協力していただきたい。

今年7月には参議院議員通常選挙が、来年には知事選挙をはじめ市長選挙、統一自治体選挙も予定されている。札幌市選挙管理委員会には、指定施設以外の高齢者施設に対して、投票所は万全の感染防止対策を取り、安心して投票できることをしっかりと周知していただき、合わせて入居者から投票の申し出があった場合には配慮いただき、貴重な有権者の投票機会の確保が図られるよう施設にお伝えいただくことを強く要望する。





「公立夜間中学における学びに困りのある方への支援について」(教育委員会 3.14)

北海道初の公立夜間中学「星友館中学校」がいよいよ4月に開校する。札幌モデルと言われる独立型夜間中学は、全国から熱い注目がされており、開校後も、多様な生徒の意向を十分に生かして、よりよい学校づくりを深化し続けていただきたい。

これまで札幌では、自主夜間中学である札幌遠友塾が、様々な理由で十分に学ぶことができなかつた方に対する学習機会を提供してこられた。

学び直しを希望する方にとっては、星友館中学校の開校により、学ぶ場所や学び方の選択肢が広がり、喜ばしいことと考える。

質問：①入学予定者は、どのような学びを希望しているのか？②小学校段階からの学びを希望している方が多いことを踏まえた学習指導の検討状況は？③一人一人の学びの困りに応じた支援を行うための教育相談をどのように行うのか、伺う。

答弁：①入学予定者は71名、10代から80歳代まで均等におり、外国籍や外国にルーツのある方も6名と多様な方が入学予定。60%以上の方が、小学校段階の基礎的内容からの学びを希望し、手紙や作文を書けるようになり、自分の思いを誰かに伝えたいなど、卒業後の進路希望に関わらず、星友館中学校での学びを通して、自分の人生をより豊かなものにしたいと願っている。**②**各生徒の学ぶ目的や目標、習熟度、日本語の修得状況などが異なり、6つのコースを設定し、所属する学年に関

わりなく、自分の学びの状況にあったコースを選択できるよう配慮。5つのコースで小学校の学習内容から始め、小学校での指導経験のある者を含め教員を手厚く配置し、多様なニーズに応える学習環境を整備。**③**全生徒対象の教育相談を年間5回実施し、定期的に生徒の不安や困りに耳を傾けていく。スクールカウンセラーは週2回来校し、生徒の相談にすみやかにカウンセリングが可能となる体制を整備。星友館中学校では、様々な面で不安を抱える生徒が多いことを鑑み、きめ細かな支援を行い、生徒の誰もが安心して学びの主役になれる学校づくりに取り組みます。

<HPVワクチン積極的勧奨再開について>

国は2022年4月から、HPV(子宮頸がん)ワクチンの積極的勧奨再開を決定、いまま重篤な副反応に苦しんでいる全国の多くの被害者らを置き去りにした再開です。

札幌では中学1年、高校1年生の女子に「お知らせ」や国作成のリーフレットなどが送られます。

その前に、HPVワクチンについて“ほんとうのこと”を知ってほしいとの思いで、東京訴訟支援ネットワークはリーフレットを作りました。

対象の皆さんには、子宮頸がん HPV ワクチンについて適切な情報を把握して、接種についての判断をしてほしいと切に願っています。

※ HPV ワクチン副反応被害者は、決して“反ワクチン”ではありません。国や製薬会社の言葉を信じて、ワクチンを接種してきた人たちです。

「私たちが反ワクチンであれば、こんなワクチンを娘に打たせなかったのに」被害者の母の言葉です。



はーとくん@HPVV をご覧ください！！

HPVワクチンを接種しても検診は必要!

私は2020年予算委員会で子宮頸がん検診未受診者にHPV自己採種検査キットを送ることを求め、札幌市は2022年度から25歳の子宮頸がん検診未受診者の希望者に検査キットを送り、まず自ら検診していただくことが実現します!

<ドットJPインターン生 活動報告>

2月3月に大学生3人がしのだ事務所でインターン活動を実施しました。彼らは昨年大学に入学したもののキャンパスでの講義や部活を楽しむことは少なく、新しい友人を作る機会もありません。インターンシップを通じて多くの社会人に会い、将来を見据えて未来自治体を創造する計画を立てました。

・市民シンポジウム「接種勧奨のハガキが届く前に知ってほしいこと」に参加して

感想①私自身がキャッチアップ接種対象であり、どうするか考えていたのでこのお話が伺えて良かったです。子宮頸がんワクチンの副反応にどのようなものがあるのかということ初めて詳しく知りました。痒み、注射部位の痛み・腫れ、腹痛、筋痛・関節痛、頭痛など今まで聞いたことのあるものの他に、音過敏、光過敏、突発性難聴、記憶障害などが挙げられていました。副反応があることは知っていましたが、従来の生活を送ることが困難になるほどの症状が出ることもあるということは知らなかったので衝撃でした。実際に副反応が出た方の話にあった「なんとなく受けたほうが良いと思って受けた」という言葉が今の自分と重なりました。(S・S)

感想②私は以前から、家族にHPVワクチンは打たないでほしいと言われてきました。当時は説明されてもその意味が分からず、今回の積極的接種再開に合わせて私も打とうと思っていました。しかし、今回実際に副作用の被害に遭った方の話を聞くことができ、その考えを改めようと思いました。無料と謳われたり、周りには友達がみんな打ったとしても、私は打たないと思います。

確かに子宮頸がんには一定数効果がある、とおっしゃっていましたが、それでもその裏にある副作用

の重篤さは計り知れません。どうして副作用に悩まされている人が今もいるのに、問題が解決しないまま積極的接種を再開しようとするのかと思いました。

副作用の被害に遭った方々には、寄り添える言葉をかけたいと思います。「心の問題」と一言で片付けるようなことはせず、なぜつらいのか、そしてつらいと言っている人を否定せず、感情を肯定するだけでも本人たちにとっては心の支えになるのではないかと思います。また、世論に流されず自分の意見を持つこと、メリットだけしか流れない表面的な情報を鵜呑みにしないことが大切だ、と改めて感じました。(Y・K)

しのだ江里子のつれづれ日記



(2.5) まちかどミーティング インターン生と意見交換



(2.17) 大倉山オリンピックミュージアム視察



(2.17) 2030 冬季オリパラを聴くまちづくりに必要の可否、財政負担等若者の意見を伝える。



(2.25) 経済観光局からスノーリゾートについて聴く滞在型の観光客誘致について



(3.1) モエレ沼公園ガラスのピラミッド 雪冷熱を学ぶ



(3.2) FM ドラマシティジェンダー平等について意見交換

皆様のご意見をお寄せください

しのだ江里子事務所
〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1-7
グローバルビル2F (元町駅1番となり)
Tel: 011-784-1086 Fax: 011-792-0081
E-mail: eriko1950@beige.plala.or.jp
URL: http://www.shinoda-eriko.com

“しのだ江里子のつれづれ日記”
毎週月曜日 午前10時5分から30分間放送中
(コミュニティFMさっぽろ村ラジオ 81.3MHz)